

平成25年度 主要行事日程予定表

4月1日(日)	前期(4/1～9/20)
4月4日(木)・6日(土)	学内オリエンテーション(在学生)・各種説明会
4月3日(水)	入学式
4月3日(水)・4日(木)	学内オリエンテーション(新入生)
4月5日(金)・6日(土)	新入生合宿オリエンテーション・セミナー
4月5日(金)・16日(火)	定期健康診断(学生)
4月8日(月)	前期授業開始
4月6日(土)・16日(月)	Web履修登録
4月20日(土)・24日(水)	Web履修登録確認期間
4月20日(土)	6年次生保証人との就職懇談会(薬学部)
5月15日(水)	開学記念日・学長杯争奪競技大会
5月21日(火)・23日(木)	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)
7月26日(金)	前期授業終了
7月27日(土)・8月6日(火)	全学前期定期試験
8月7日(水)	夏季休業開始
8月31日(土)・9月15日(日)	教育懇談会
9月20日(金)	夏季休業終了・後期オリエンテーション
9月24日(火)	後期授業開始 後期(9/21～3/31)
9月中旬～10月中旬	大学院入試(経済学, 人間科学, 工学, 薬学)
9月中旬～10月下旬	公開講座
10月6日(日)	平成26年度指定校入学試験
10月18日(金)・21日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪競技大会

【備考】本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各部局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月間予定表に記載されます。

4月の行事

4月3日(水)	入学式 新入生オリエンテーション オリエンテーション 【薬学部6年次生】
4月4日(木)	新入生オリエンテーション 学科別オリエンテーション 【2・3年次生】 各種説明会 【2～6年次生】
4月5日(金)	新入生合宿オリエンテーション 定期健康診断 【午前男子/午後女子:2・4・6年次生・院M2・D3:大学会館】 学科別オリエンテーション 【4・5年次生】 各種説明会 【2～4年次生】
4月6日(土)	新入生合宿オリエンテーション
4月8日(月)	授業開始 定期健康診断 【女子:2・4・6年次生・院M2・D3:大学会館】

11月7日(木)・8日(金)	平成26年度推薦入学試験(A日程)
11月19日(火)	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)
11月下旬	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部・人間文化学部)
12月中旬	3年次生保証人との就職懇談会 (工学部・生命工学部)
12月7日(土)	平成26年度推薦入学試験(B日程)
12月20日(金)	授業終了
12月21日(土)	冬季休業開始
12月28日(土)・1月4日(土)	仕事納め 年末・年始休業
1月4日(土)	冬季休業終了
1月6日(月)	仕事始め 授業開始
1月18日(土)・1月19日(日)	大学入試センター試験
1月31日(金)・2月3日(月)	平成26年度前期入学試験(A日程)
1月31日(木)	後期授業終了
2月4日(火)・14日(金)	後期定期試験
2月17日(月)・28日(金)	学部・学科別行事
2月21日(金)	平成26年度前期入学試験(B日程)
3月1日(土)～	春季休業開始
3月上旬	企業懇談会
3月14日(金)	平成26年度後期入学試験
3月20日(木)	学位記授与式(卒業式)

4月9日(火)	定期健康診断 【男子:2・4・6年次生・院M2・D3:大学会館】
4月10日(水)	定期健康診断 【男子:2・4・6年次生 院M2・D3:大学会館】
4月11日(木)	定期健康診断 【午前女子:1・3・5/午後男子:1・3・5年次生・院D2:大学会館】
4月12日(金)	定期健康診断 【男子:1・3・5年次生, 院D2:大学会館】
4月15日(月)	定期健康診断 【午前男子1・3・5/午後女子:1・3・5年次生・院D2:大学会館】
4月16日(火)	定期健康診断 【午前男子1・3・5/午後女子:1・3・5年次生・院D2:大学会館】
4月6日(土)～4月16日(火)	Web履修登録
4月20日(土)～4月24日(水)	Web履修登録確認期間

編集後記 今年は厳しい寒さの冬から急に暖かな春が訪れた感があります。三蔵の丘に新入生を迎え、いよいよ新しい1年間が始まります。この学報には、松田学長、清水理事長を始めとする教員や先輩からのアドバイスがたくさん詰まっています。新入生のみなさんの学生生活が充実して生き生きとしたものになることを願って今回の学報を編集しました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸ばし、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 入学



学 報

2013.4.3 Vol. **136**

目次

入学式 学長告辞	1
理事長あいさつ	2
学習に取り組む前に	3～4
キャンパスライフへの指針	5～8
学生の活動	9
学内TOPICS	10
行事予定	11



一步踏み出して、 アクティブに学ぼう

平成25年度入学式 学長告辞

福山大学 学長 松田 文子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ福山大学においてくださいました。福山大学教職員一同、そして在校生一同、新しい仲間を迎えることが出来たことを心から喜び、ここから歓迎します。また、ご臨席のご家族の皆様には、ここまで育て、そして福山大学へと、物心両面でご支援いただきましたこと、こころより感謝申し上げます。新入生とそのご家族の皆様のご期待に十二分に応えて、これから卒業までの期間、新入生の皆さんの広範な人間形成に向け、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。ご家族の皆様には、引き続いての物心両面でのご支援を、よろしく願いいたします。

福山大学は、今年創立38年目を迎えます。卒業生総数は3万人あまりで、その中から備後地域を中心に、地域のリーダーや中核となる人材がつつぎと輩出しています。創設者による建学の精神は、「人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」ですが、この精神は、5学部14学科、4研究科13専攻を擁する、人文社会系、理工系、医療系のそろった中国地方有数の私立総合大学となった今日まで、脈々と続き、私も教職員が行う教育支援の中心的理念となって受け継がれています。

さて、皆さんは大学ということにどのようなイメージを持っているでしょうか。大学は10年、20年前とずいぶん変わった面がありますし、またある面では変わっていません。変わっていないところ、それは第一に「大学は学ぶところ」ということであり、そして第二に「社会人となる前の最後の学びの場」ということです。今、変わっていないことの第一に「大学は学ぶところ」と申しましたが、「学び方」はかなり変わってきました。学び方が変わったということは、教え方が変わった、ということでもあります。大学での授業のイメージというと、大きな講義室で、先生が黒板を背にして立ち、一方的にしゃべったり、黒板に書いたりし、学生は一生懸命ノートを取る、というものではないでしょうか。今、そのような授業は少しずつ減り、他方で、授業中に少人数で話し合ったり、学生が前で発表したり、時には学生だけでミーティングや作業を行い、先生は意見や助けを求められたときだけ表に出てきたり、あるいは大学の外に出て調査や実体験をしたり、という授業が増えてきています。これらは総称して、アクティブ・ラーニングと呼ばれています。「アクティブ」すなわち「学生自身が積極的に」、「ラーニング」「学ぶ」、ということです。より根源的には、教員が知っていることを教える授業だけでなく、正しい答えが分からない課題に学生たちが立ち向かい、解決方法を探して、自分たちなりの解決策を提案するという授業が増えてきたということです。なぜこのような授業が増えたかという、大学が意図してそのようにしているからです。ではなぜ大学はそうしているのでしょうか。それは大学が変わっていないところの第二番目「社会人となる前の最後の学びの場」であることと関係しています。すなわち、社会が大学の教育に何を期待しているか、どのような力を身につけた若者を養成してほしいと思っているか、これが変わってきたからです。もちろん、専門の知識・技能を身につけてほしい、これは変わりません。しかし、より一般的な人文的教養、数理的リテラシー、情報リテラシー、コミュニケーション力、総合的な問題解決能力等は、専門にかかわらず身につけて、汎用力のある若者を育ててほしいというのが、今日の社会のニーズなのです。さらに、このような専門的あるいは汎用的知識・技能だけでなく、自己管理力、チームワークやリーダーシップ、あるいは倫理観、責任感といった態度までも身につけてほしい、というのも社会の強いニーズです。現代社会には、正答のない、正答に至る解法の分からない問題が充ち満ちており、それらに果敢に挑戦する若者を欲しているのです。加えて、3.11の東日本大震災と福島第一原発事故は、私たちは共同体感覚なくしては生きていけない、共同体感覚こそが、私たちの生きる土台なのだと実感させてくれていますが、これも現代の核家族化の進んだ、そしてインターネットの張り巡らされた社会では、なかなか自然には身につかず、大学教育に期待がかかっています。今、社会はこのように、専門的知識と技能を超えた、多くのものの学習を、大学と大学生に期待しているのです。

ところで、本学では現在、工学部新棟を建設中です。9月中旬に竣工予定です。工学部の新入生の皆さんは、どんな建物が建つか、興味津々ではないでしょうか。工学部以外の人も自由に出入りできますので、他学部の新入生の皆さんも他人事と思わないで下さい。学生や教員だけでなく、地域の人々もかなり出入りするでしょう。新しい工学部は、学科の区分を超え、研究室の垣根を越えたプロジェクト方式で、人々が集い、知恵を出し合い、正答のない問題に小さくてもよいので取り組み、協力して未知の物作りを行うなど、新しいアクティブ・ラーニングの教育の理念の体現をもくろんだ作りになっています。もちろん工学部以外の学部でも、参加型の授業やプロジェクトが様々に用意されています。この大学会館の3階にも、アクティブ・ラーニング専用の、最新のICT機器のそろった、大変魅力的な教室が昨年末に完成し、皆さんを待っています。新入生の皆さん、ぜひ様々なプロジェクトに積極的に参加しましょう。

さて、アクティブ・ラーニングに参加すると、皆さんの脳はどんどん活性化して、自分の能力が自分でも想像していなかった方向にまで、次第に広がっていくことが実感できるようになります。そのためにまず、今日から早速アクティブに学内探索をはじめてみませんか。そしてアクティブに仲間作りをはじめてみませんか。それがアクティブ・ラーニングのとてもよい準備運動になると思います。

以上、新入生の皆さんの実り多い大学生活をここから願い、そして私達教職員は惜しみなくそれを支援することをお約束して、入学式告辞とします。

平成25年4月3日



「新入生に願ひする3つの約束」

平成25年度入学式 理事長あいさつ

学校法人 福山大学 理事長 清水 厚實

新入生の皆さん入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員はじめ、在学生とともに心から歓迎いたします。また、新入生の保証人の皆様には、大切にお育ていただいたお子様を本学に入学させていただき、心より厚く御礼申し上げます。私共教職員は、一体となって、お子様を大切に育て、知、徳、体の総合力をしっかりと身につけた立派な社会人とするよう努力いたしますので、どうか安心しておまかせいただきたいと思います。

入学した学生に対し、大学としては、3つの約束をお願いし、それを実践するよう強く求めています。第1は、大学生となった以上は、自分が何を勉強し、どんな資格を取ったらよいかを自分でよく考え、きちんと決め、その到達目標に向って、しっかり勉強してほしいことであります。第2は、本学ではクラス担任制を取り、すべての学生について1人ひとりをきちんと指導することにしていきますので、勉学は勿論、日常の生活についても、また、就職、進学についても担任の先生と日常的によく相談し、指導を受けてほしいこと、勿論授業には、学業に励むことは学生の本分でありますから、授業には必ず出席することをきちんと守ってほしいこと。第3は在学中にたくさんの友人を作してほしいことです。友人は在学中はもとより、卒業後も生涯にわたって付き合っていけるもので、どんな宝物よりも貴重な財産であります。本学には、留学生もたくさんいますので、これらの留学生とも日常的に交流し、相互に国際化、グローバル化に備えてほしいこと。の3つでこれを是非実現してほしいと思います。

本日は、保証人の皆様もたくさんご出席いただいておりますので、この機会に本学の運営や入試、就職状況についてご報告させていただきます。ご承知のように大学はいま18才人口の激減、長く続いた不況、東日本大震災等に伴う外国人留学生の減少など多くの問題をかかえ、各大学共大変苦労しているところであります。幸い、学校法人福山大学の2つの大学は、全教職員による入試対策並びに就職対策の強化により、入学については志願者もそして入学者も、お蔭様で増加しております。

また、就職については、全国平均を遥かに上まわる実績をあげており学生は勿論、保証人の皆様のご期待に込めているものと考えております。ご承知のように、経団連、日経連、日本商工会議所などの経営者団体では、国際化、グローバル化に備え、論理的な思考力や問題解決能力を持つとともに、企業の中でチームを組んで課題解決に取り組むことのできる経験やそれぞれの専門分野の学力をしっかりと身につけ、それを役立てることのできる人材の育成を強く求めています。本学ではそれに応える学生とするよう全教職員挙げて努力し、指導に当たっているところであります。

次に最近大きな問題となっている秋入学についてであります。いま世界の70%の国が秋入学を行っております。しかし、我が国の場合は現状において秋入学とした場合、4月から8月までのギャップタームをどうするか、国家試験や各種資格試験の実施との関係をどうするか、企業などの会計年度との関係をどうするかなど多くの問題をかかえております。ギャップタームについては、短期留学やボランティア活動などをといった意見もありますが、それでは、その経費は誰が負担するのか等、大変問題が多くあり、その解決ができないと簡単には実現できないものと考えております。

しかし、国際化、グローバル化という立場からは、世界の7割の国が秋入学を行っていますので、本学としても、問題は多いと思いますが、それにきちんと取り組み、どう対処したらよいかにつき、鋭意研究検討を重ねているところであります。

ただ、国際化、グローバル化に伴う人材の育成という視点からは、アメリカのカリフォルニア大学をはじめ、ヨーロッパのブルガリアのソフィア大学、中国の中山大学、上海師範大学、北京貿易経済大学など20数校と協定を結び、留学生の交換・交流なども盛んにし、学生がこれを活用して、異文化理解やわが国の文化の紹介など行うことのできるよう指導しているところであります。

最後に新入生の皆さん、大切に貴重な学生生活を、夢と希望に満ちたものとするとともに、立派な社会人となって、大切に育てていただいた保証人の皆様のご期待に応えるよう、しっかり努力してほしいことを心からお願いし、贈る言葉といたします。

平成25年4月3日

学 習 に 取 り 組 む 前 に

切り替えを大切に

新入生の皆様ご入学おめでとうございます。並びに保証人の皆様、誠にご入学おめでとうございます。謹んでお祝い申し上げます。皆様はこれから有意義な大学生活が待っているけれど、期待や不安も多くあると思います。それらを解消するためには、1日でも早く学校に慣れましょう。実際に私も大学1年生の頃は不安で一杯でした。そこで充実した大学生活を送れるように2つアドバイスをしたいと思います。

1つ目は、切り替えが大事であるということです。大学生活では自由な時間が増えるのでバカンスすることもあります。大学は勉強がメインなので切り替えを自分でコントロールしてください。

2つ目は、積極的にサークル(部活動)やイベントに参加してみてください。大学は自分自身で決めなければいけません。ですから、自分の興味があること、やりたいことがあったら是非参加してください。

さて、新入生の皆様はどのサークル(部活動)についてはお考えでしょうか？福山大学には体育会系・文化系のサークル(部活動)が合計で50以上あります。私は硬式テニス部に所属しており、昨年まで副部長を務めていました。部活動を通じて部の運営だけでなく副部長として結果を残さなければならないことを学びました。

最後になりますが、4年間は本当にあっという間です。皆さんにとって素晴らしい大学生活をお過ごしください。

国際経済学科 4年 和田 誠

子ども達が先生

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活には徐々に慣れてきましたか。まだまだ、大学に入学したばかりということで、大学生活のイメージが持ちにくく、不安な日々を過ごしているとは思いますが、目標に向かって充実した大学生活を送っていきましょう。現在、私は児童臨床心理学研究室に所属し、「子ども達が先生」という堤教授の名言のもと、学校などで何らかの困り感を持つ子ども達に対して学習支援を行っています。学習支援では、勉強を教えるだけではなく、コミュニケーションや社会性を身につけ、子ども達が自信を持って生活を送れるようお手伝いしています。時には、保護者の方々にクリスマス会やお好み焼きパーティなどのお楽しみイベントを開催していただき、子ども達と一緒に和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しく活動させていただいています。皆さんも、私達と一緒に充実した大学生活を送っていきませんか。これから楽しい学生生活を送れることを願っています。

心理学科 3年 篠原 慎吾

「動く」大学生活を!!

陽春の候、新入生の皆様ご入学おめでとうございます。ならびに保証人の皆様、誠ににおめでとうございます。謹んでお祝い申し上げます。

皆さんは今、さまざまな期待と不安を胸に抱いていると思います。そこで、皆さんが少しでも充実した大学生活を送れるようなアドバイスができればいいと思います。

まず、何でも自分から積極的に動いてください。これは、いろんなことに役立つはず。 「動く」は、行動に移すこと、心の状態が変化するなどがあります。福山大学というまだ知らない地で、「動く」というのは難しいと思いますが、たくさん動いてください。動くことで、友達をつくったり、同じ学部の先輩たちと仲良くなったり、サークルに入ったり、もちろん授業にも出たりなど、コミュニケーションの幅がとても広がり、新しい発見もたくさんあるはず。 「動く」上で周りの人に合わせるのも大事なことです。が、興味のあること、してみたいこと、やりたいことがあったら自ら積極的にどんどん挑戦してください。性格や個性は人それぞれなので、タイミングも難しいですが、自分自身を成長させるいいきっかけになることと思います。大学生活はあっという間なので、何事にも早く取り組んで、早く行動してください。そして、いずれは皆さんが「動く」を「動かす」に変えて福山大学を盛り上げていってください。

不安もあると思いますが、皆さんが福山大学で充実した楽しい生活が送れるように祈っております。

建築・建設学科 4年 本谷 航士



学 習 に 取 り 組 む 前 に

新しい自分を見つけよう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから新しい生活となり、期待と不安があると思います。不安の一つの要素として勉強が挙がるかと思いますが。大学の講義は難しいと思いがちですが、低年生のうちは基礎を学ぶ講義が多いので、専門的な講義までステップアップしていくことができます。大学では自分で時間割を組むことができるので、興味のある講義をみつけるといいと思います。私が特に好きな科目は学生実験で、海岸に行って生物を探して観察するなど、講義だけではわからない発見がありとても面白く感じます。また、様々な資格を取ること自信につながることでしょう。皆さんも楽しく学んでいって欲しいと思います。

サークル活動は友達や仲間が増え、たくさんの思い出ができるのでオススメです。私は姿勢がカッコいいという理由で大学の弓道部に入部しました。最初は人づきあいが少し苦手だったのですが、同期の友達や先輩と仲良くすることでコミュニケーションを取ることが好きになり、新たな自分を発見できました。

これからの大学生活が充実するように、皆さんの活躍を応援しています。
海洋生物科学科 4年 小林 綾乃

実りのある大学生活を目指して

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。きっと希望を胸に入学式に臨まれたことと思います。大学生になられた皆さんに私が6年間で感じたことをふまえてアドバイスをします。

まず初めに、自分なりの目標をたてて下さい。その目標に向かって、この6年間の大学生活をどのように過ごすかが、将来の夢への第一歩につながります。

そのためには、分からないことをそのままにせずに1・2年次でしっかり内容を理解し、専門的な知識を身につけることが重要になってきます。大学の勉強はとても大変です。様々な困難や壁にぶつかると思いますが、その時は1人で解決するのではなく、仲間と助け合いながら立ち向かって下さい。

大学生活は、勉強だけではなく。サークル活動・班活動・学祭など楽しいイベントがたくさんあります。またこの6年間で、「積極性」と「自立性」を築いて下さい。何事にも恐れずにチャレンジして下さい。そして、自分の考えを持って主張できる人間になって下さい。

この6年間で学んだことや得た経験、出会った仲間は将来自分にとってかけがえのない大切なものとなります。6年間をこの様に過ごすかは自分次第です。自分にとっての大学生活が素晴らしいものであったと言えるように頑張ってください。

薬学部 6年生 尾高 珠理



三蔵祭



餅つき



文創祭



学友会フィッシングツアー



学友会スキーツアー

I C T教育環境の整備 （「ゼルコバ」の運用とWi-Fiスポットの整備）

福山大学では、ICT (Information and Communication Technology)教育環境の整備を推進しています。それらの環境整備の一環として、平成24年4月から学生の教育・研究、大学生活などを支援するための学生情報配信システム（通称：ゼルコバ）を運用しています。この「ゼルコバ」とは、教務や就職など学生支援のための情報をWeb化して、より迅速かつ正確に伝達することを目的として、いろいろなサービスを提供するシステムの名称です。

学生はパソコンや携帯端末を利用して、学内外から教務情報（休講・連絡・キャンベネット等）の確認、履修登録、成績閲覧や就職活動情報（求人情報・企業検索・進路希望票等）のサービスを利用することができます。また、Webメールサーバを利用した一斉メール配信システムにより、緊急時の全学生向メール連絡や教員による学生への個別指導に対応しています。

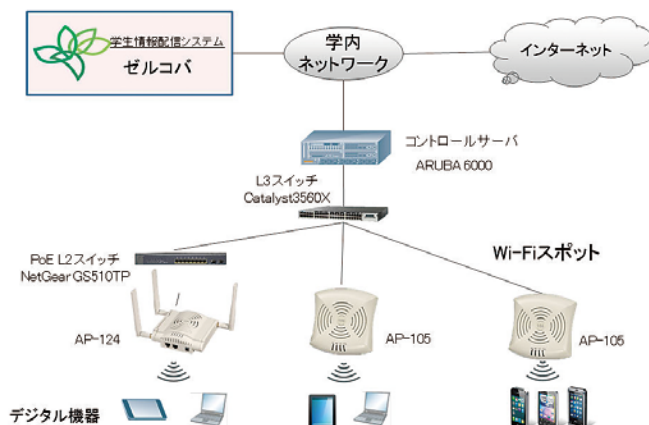
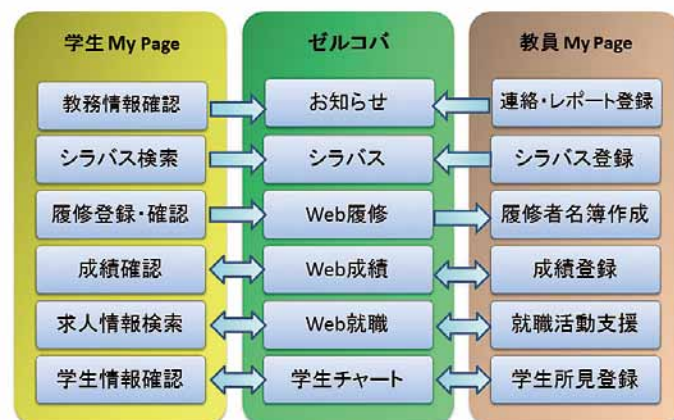
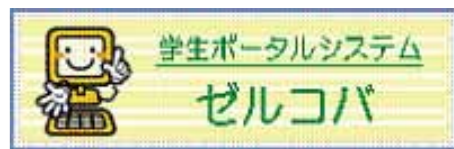
教職員は「ゼルコバ」を利用して、成績情報やシラバスの入力、学生への連絡・呼び出し、課題レポート情報の登録、学生チャートを利用して学生個人の状況把握などを行い、きめ細やかな教育・指導に役立てています。

学生・教職員が利用できる「ゼルコバ」の主なサービスは、Web履修（履修登録・履修検索）、Web成績（成績登録・成績確認）、シラバス、Web就職（企業求人情報検索・就職活動支援）、学生チャート（学生情報照会・所見登録）、緊急時連絡システムなどがあります。これらのサービスは、学生支援のために必要不可欠なものとなっています。

平成25年4月には、学生の大学内における情報資産の有効活用と学習支援を目的としてWi-Fi（Wireless Fidelity）スポットの運用を開始します。このWi-Fiスポットとは、学生所有のデジタル機器（パーソナルコンピュータ、タブレット、スマートフォン等）を無線LAN経由で学内ネットワークに接続するための入口となるものです。これらのスポットを大学内の教室やホール、食堂やサッカー・野球グラウンドなど学生が多数集まる場所（総スポット数：134個）に設置し、学生が自由にインターネットへ接続できるようになります。また、この新設する設備により、学生は大学内のWi-Fiエリアからデジタル機器を用いて自由に「ゼルコバ」に接続でき、時間・場所に制限を受けない情報の取得が可能となります。通常教室でも、タブレットなどデジタル機器を利用して自由に情報の受信・発信ができるようになり、最新のICT教育環境を活用した新たな教育方法の実践が可能となります。

情報処理教育センターでは、学生情報配信システム「ゼルコバ」やWi-Fiスポットシステムを活用した学生の教育・研究活動を支援すると同時に情報機器の利活用からICTリテラシー能力の向上のための支援を行います。

情報処理教育センター センター長 簡本 和広



自信と希望を育んで！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心から歓迎しています。本学では、皆さんが基本的な知識を習得するとともに教養を備え、創造性豊かな人に育ってもらうために、充実した教育プログラムを用意しています。本学の授業科目には、共通教育科目と専門教育科目があります。共通教育科目の初年次教育科目としての教養ゼミでは、極め細やかな対応で、友人や教員と対話する機会も増えますので、皆さんの社会性が養われていくことを期待しています。また、教養講座も開かれます。専門教育科目では各学部学科に特徴ある科目を開講しています。皆さんは講義・演習・実習などを履修し、学科独自の体験型学習、さらには卒業研究・論文を通して「問題発見能力・解決能力」や「コミュニケーション能力」等を培っていくことになります。

今年度からは、情報通信技術(ICT)教室「CLAFT」も整備され、学習形態も講義だけでなく、スモールグループディスカッション（SGD）、問題解決型学習（PBL）などの自己学習型の形態も取り入れられていますので、積極的に学習に取り組んでください。皆さんのその姿勢が新しい自分を生み出していきます。また、皆さんの自主学習を支援するために、受講者のペースで学習可能な各種のeラーニングシステムも導入されています。その他、1号館などに学習支援・相談室も設けられていますので、気軽に覗いてみて下さい。

皆さんが履修する科目については、事前に登録が必要で、Webサイトを利用した学習支援システム「ゼルコバ」を用いて行います。履修科目の決め方や登録方法は年度初めのオリエンテーションや情報リテラシーの授業で詳しく説明されます。また、本学では進級・卒業するのに定められた単位を取得することが求められます。これらのことは「学生便覧」や「教務のてびき」に記載されていますが、不明な点はクラス担任や教養ゼミ担当教員または教務課に気軽に相談してください。丁寧に対応します。

皆さんの日々の意識の持ち方ひとつで大学生活は大きく変わります。皆さんには、大学では主体的な学習を通して知的に向上する喜びを感じながら、知識、技能及び態度に価値ある変化を起こし、役立つ自分を認識して、自信と希望を育んで将来に渡っての生きる力を培って欲しいと思います。

教務委員長 鶴田 泰人

大学会館 新ICT教室「CLAFT」



生物工学科と海洋生物科学科の体験型学習



キャンパスライフへの指針

自分未来創造室

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まるキャンパスライフに大きな期待と希望を抱いていることでしょう。しっかりと目的を持って、充実した学生生活を過ごして欲しいと思います。学業に励むことはもちろんですが、サークル活動に打ち込む人、幅広い交流に努め人的ネットワークを築く人、アルバイト等にもトライする人など、色々な学生生活を模索してもらいたいと思いますが、一点重要なポイントを忘れないで下さい。それは、ほとんどの人にとって、大学生活は実社会に出る前の最後のステージだと言うことです。幼稚園・小学校からずっと、教育される待遇で過ごしてきた皆さんにとって、大学卒業後、実社会に出ると言うことは人生において一大転機であるはずで。そのため、この大きな転機をスムーズに乗り越えて行くための準備も、大学生活において大きなウェイトを占めるわけです。

福山大学では、キャリア形成支援委員会が実社会に出るための準備に対して支援しています。インターンシップを通じて皆さんに実社会を体験してもらったり、資格を取るための支援をしたり、カリキュラムの中でキャリア教育(キャリアデザイン等)を充実させていたりしています。

ここで、皆さんにとって、耳寄りな話があります。これら支援活動をより充実させ、大規模に活活化させるために、昨年秋に『自分未来創造室』を新設しました。正式には人材育成事業推進室と言いますが、皆さんが実社会へスムーズに溶け込んで活躍し、将来素晴らしい人生を送って欲しいと言う願いも込めて、自分未来創造室と言う愛称を使用しています。文部科学省が進めている「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の一環として、従来の活動を発展させることとなったために新設されたもので、大学内の1号館3階 01325号室に開設されており、教職員の他に専属のスタッフも常駐していますので、気軽に訪れてみて下さい。

以上のように、自分未来創造室は、文部科学省のバックアップを得て皆さんの将来設計を支援しますが、当事者は皆さん自身です。自分の未来、自分の人生をしっかりと考えながら、自分未来創造室を活用して下さい。

キャリア形成支援委員長 布施 守雄

「合同企業説明会」・「企業懇談会」開催される

就職活動の本番を迎えて（合同企業説明会）

平成26年3月卒業予定者を対象とする福山大学「合同企業説明会」を開催しました。第1回を2月15日に福山ニューキャッスルホテルで、第2回を2月19日に、第3回を2月21日に、ともに福山大学宮地茂記念館で開催しました。参加企業は関東以西の広範囲にわたり、前回はを超える合計206社にのぼり、学生の参加も、延べ人数で約540名でした。個別企業の説明会が始まっている時期でもあり、日程の都合がつかなかった学生も多数いたと思われます。最近、企業の業績に明るさが見え始めたとはいえ、厳選採用の傾向は変わらず就職状況が好転するにはもう少し時間がかかると思います。福山大学では個々の学生の相談体制を一層強化し、本学での「単独企業説明会」等も適時開催して、学生の就職活動を支援していきます。

「企業と本学との情報交換会開催（企業懇談会）」

平成25年3月6日に福山ニューキャッスルホテルで本学主催の企業懇談会が開催されました。この懇談会は本学創設当初から実施されており、地元企業を始め福山大学、福山平成大学の学生の就職先の優良企業を招いて開催しているものです。今回は、本学客員教授の田中秀征先生に「最近の政治」と題して講演していただくということでご案内を差し上げたところ、210社233名の方に参加していただき盛大な会合となりました。就職委員長の開会の言葉と大谷副理事長の挨拶のあと、田中先生の講演をはさんで松田学長の挨拶、林福山商工会議所会頭の力強い音頭による乾杯が行われ懇談に入りました。企業の代表者ならびに採用担当者と本学各学部学科教員との間で来年度の採用見通しなどについて、突っ込んだ情報交換が行われ、相互の信頼関係を深めました。年度末で多用の中、多数ご出席くださいました企業の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

就職委員長 三谷 康夫

キャンパスライフへの指針

大学生活のスタートに向けて

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学での日々に大きな希望を抱いていることと思います。 今日を、すばらしい大学生活の第1日目としてください。

さて、大学生活への希望の大きさと同じくらい新しい生活に不安を抱いている人も多いのではないのでしょうか。勉強のこと、友達のこと、通学のこと、そして初めての一人暮らしなど不安はいっぱいあると思います。でも、これらの不安も、先生や友達と話しをしている間に少しずつ解決して行くことでしょう。4月5、6日に行われる新入生合宿オリエンテーションでは、相談にのってくれる先生、先輩、そして友達を見つけてください。気の合う友達を見つけることができれば、大学生活がきっと楽しいものになります。また、入学式が終わるとサークルの紹介や入部手続きが始まります。サークルは、頼れる先輩や友達を見つけ、さらに自分の人間力を高める絶好の場所です。ぜひ、進んで参加してください。

入学式の後に福山大学の学生証を交付しました。学生証は身分証明証であり、学割などの証明書の交付、定期券の購入、それに定期試験の受験に必ず必要ですので、大切にしてください。一緒に配布した学生便覧は、学生生活に必要な各種の規則や学内地図などが掲載されていますので、必ず目を通しておいてください。また、学生生活でとても大事なものに掲示板があります。講義連絡や奨学金の案内などは、1号館2階と各学部のそれぞれの掲示板に張り出します。これを見過ぎても、その責任は学生自身にあります。毎日必ずチェックするようにして下さい。また、学生情報配信システム「ゼルコバ」にも、掲示板と同じように講義情報などを掲示しています。こちらはインターネットを介して家からでも確認することができます。「ゼルコバ」は履修登録でも使いますので、最初の講義で使用方法を説明します。

新入生の皆さんは、たくさんの新しい規則・手続きを一度におぼえることになります。もし、分からないことがあれば、近くの教員か窓口の職員に聞いてみて下さい。皆さんの新しい学生生活を我々がサポートします。

学生委員長 菊田 安至

学友会短信

【サッカー部】●1月27日～ 3月3日 第22回仁紫カップサッカー大会出場●1月12日 サンクスフェスタ(広島県サッカー協会主催表彰式)大宮隆太郎(経済3年)谷本和希(経済4年)半田翔一(経済4年)加藤紘将(経済3年)峯恭平(経済2年)●2月2日 コメンシッ2013(福山サッカー協会主催表彰式)●2月26日 デンソーカップチャレンジサッカー島原大会出場 中四国選抜選手・加藤紘将●2月24日 サンフレッチェ&朝日新聞サッカースクール協賛参加 【硬式野球部】●1月10日 平成24年度(第45回)日本学生野球協会から中国地区大学野球連盟の学生野球協会表彰選手として表彰 埜森友希(経済4年)●2月23日 オープン戦開始 【陸上競技部】●12月1日 第56回中国四国学生駅伝競走大会出場●12月8日 2012長崎陸協佐世保競歩大会出場●2月17日 第96回日本陸上競技選手権大会男子女子20km競歩部出場 廣藤耕一(経済3年)●3月3日 第16回岡山県ハーフマラソン選手権大会出場●3月9日～ 10日 第37回全日本競歩能美大会・第7回日本学生20km競歩選手権大会出場 【剣道部】●12月9日 第32回中国四国学生剣道新人戦出場●1月27日 第61回全日本都道府県対抗剣道優勝大会広島予選会出場 【実践空手道部】●2月17日 第18回全日本実践空手道オープン選手権大会出場 【空手道部】●12月8日 第40回全日本空手道選手権大会 男子団体組手出場右田逸人(経済3年) 【硬式庭球部】●2月23日 平成24年度中国四国学生テニス新進トーナメント大会 【弓道部】●12月1日 第40回広島県学生弓道新人戦出場 男子団体3位●3月6日～ 7日 第19回中国四国学生弓道新人戦出場 【卓球部】●2月14日 第13回中国学生卓球連盟幹事長杯争奪卓球大会出場 【スキー部】●3月7日 大山スキーツアー 【管弦楽団】●1月10日 部内アンサンブルコンサート ●1月27日 第4回フレンドリーピックまつながカープデュー参加●3月20日 学位記授与式 【吹奏楽部】●3月20日 学位記授与式 【三蔵太鼓を打つ会】●3月20日 学位記授与式 【モノづくり教育研究会】●12月2日 モノづくり教室 【YRC(ボランティア)部】●12月2日、3月10日 クリーンウォーキングin松永●2月24日、3月24日 クリーンウォーキングin福山●12月16日、1月20日、2月17日 クリーンウォーキングin芦田川●12月17日 平成24年度学生ボランティア賞クラブ賞受賞(国際ソロプチミスト府中)●12月22日LUXEATER(ルクシアタ)ふくやま2012参加●1月26日 第4回フレンドリーピックまつながカープデュー参加●だれでもサントラ!もどけるサントラ!もっと福山が好きになるwithサントラ2012参加 【学友会執行部】●12月16日 学友会ツアー in神戸 ●だれでもサントラ!もどけるサントラ!もっと福山が好きになるwithサントラ2012参加●12月24日 全国学生クリスマス献血キャンペーン2012参加●12月11日・12日、1月28日 リーダーズ会議●3月20日 卒業記念パーティー ◎学友会サークル名称変更について モノづくり教育研究会→モノづくり倶楽部(平成25年1月28日付承認) (学務部 学生課)

学生の活動

学友会YRC(ボランティア)部 国際ソロプチミスト府中「クラブ賞」受賞

私達YRC(ボランティア)部は、YRC同好会(=Yorth of the Red Cross)として発足し、現在は40名の部員が所属する学生ボランティアサークルです。地域の清掃活動「クリーンウォーキング」(JR松永駅・JR福山駅周辺、芦田川の清掃・月3回)を中心に、お祭りやイベントのスタッフなど学外からの依頼も多く、様々なボランティアに積極的に取り組んでいます。

昨年、公益財団法人ソロプチミスト日本財団(ボランティア支援団体)が行っている、女性や女兒の生活向上、環境保護などで継続的な活動・成果を上げている個人や団体への顕彰事業に、国際ソロプチミスト府中の推薦を得て応募しました。また、国際ソロプチミスト府中から地道なクリーンウォーキング活動が有益な活動と称され、「クラブ賞」を受賞しました。平成24年12月17日(月)には、府中商工会議所で表彰式が行われ、表彰状と奨励金を戴きました。心から感謝するとともに、奨励金はサークル活動資金として有意義に活用していきたいと思っています。

私が大学入学後、熱中できるものに出会ったひとつが、サークル活動です。私たちのサークルのテーマは『人とつながり』。それは、部員同士は勿論、ボランティアを依頼者される方々や、ボランティア先で出会う皆さんなど、様々な繋がりができました。この繋がりは確実に私たちを成長させてくれています。

新入生の皆さん、私たちと『つながり』を持ってともに活動しませんか?皆さんの大学生活が有意義なものになることを心から願っています。

人間文化学科 4年 小野 拓也

異文化交流の大切さ

今、ここで日本語を話している私は、大学の入学祝いの時を思い出しています。私は、本当に落ち込んでいました。希望の学科に入らず、日本語を勉強することになったからです。でもその時、隣のおばあさんが私にこう言いました。「楠ちゃん、しっかりがんばりなさいよ。もし将来、日本人と戦争したら、あなたの日本語はきっと役に立つよ。」私は、本当にそのとおりだと思って力強くうなずきました。

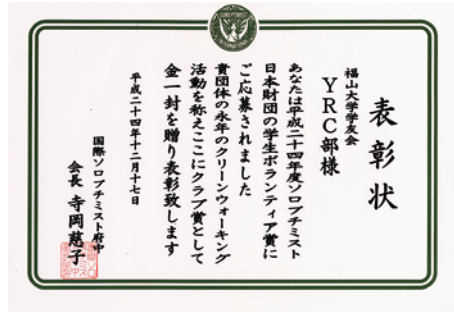
大学生になった私は、大学のキャンパスへ引っ越ししました。私の大学には「桜の道」という場所があり、春には花見に行く人がいっぱいだそうです。私も早速、遊びに行きました。花の香りがただよう道を歩いているうちに、いつしか周りを桜の木にかこまれている、看板の前に来ました。拙い字で「中日友好のために頑張りなさい」と書いてありました。その字を見たたん、はっと、以前おばあさんが言った言葉が浮かびました。「将来日本人と戦争したら、あなたの日本語はきっと役立つよ。」この言葉と看板の言葉が私の心で激しくぶつかりました。私はどういう価値観を持てばいいのか。その時の私はまだ迷っていました。

2011年の3月11日、日本で大震災が起こりました。地震の後、何人もの友達が、ブログでこう言いました。「これは報いだよ。日本で大震災が起こって本当によかった!」この言葉を見た私の心は、今まで感じたことのなかった痛みに襲われました。私はすぐ友達に反論しました。「どうしてそんなことが言えるの。」

私の友達の姿は、まるで2年前の自分でした。以前の私は、何も知らないのに、イメージに縛られて日本や日本人を拒んでいました。でも、必死で日本語を勉強しているうちに、表面しか見ていなかった言葉や文化の、本当の心を知りました。また、日本人の先生と交流する中で、一緒のことで大笑いしたり、悲しんだり、時には衝突したりしながら、先生のこと大好きになりました。そして、そんな先生が生まれた日本のことも、知らず知らずのうちに好きになっていたのです。

私には何ができるのでしょうか。異文化交流。この言葉は、私のような、地方で日本語を勉強している学生には、大きすぎる言葉のように感じられます。ですが、私は知りました。私のような学生が毎日一生懸命日本語や日本文化を学ぶことは異文化交流の一つの方法だということを。日本の地震を喜んだ友達に、自分の気持ちを伝えて、本当の日本について知ってもらうことも、日本人の先生との何気ない毎日の会話も。それに、<桜の道>を作った人たちが種を育て、花を咲かせたこともひとつの異文化交流です。全部、小さくて弱い、でも、大切な異文化交流の種だと思います。その種を大事に育てることで、自分の心で相手と向き合える人も増えるのではないのでしょうか。以前の私がそうだったように。きっと、中国と日本は私の学校の中の桜の道のように、一緒にきれいな異文化の花を育てることができると、私はそう信じています。

人間文化学科 2年 鄭 亜楠



学内TOPICS

プロジェクトMって何だ! なんだ!!

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからは大学生としての自覚を持って、様々な分野で自分自身を高めてください。さて現在福山大学では、「学生の街・松永を再興しよう!それも学生の力で!!」という一大ムーブメントを起こそうとしています。それが「プロジェクトM」です。目下参加者大募集中なのだ!

松永駅は、私たち福山大学の関係者が最も頻繁に利用する駅です。でも、今の松永駅、特に駅北商店街はまさにシャッター通り。これでは、私たち福大生も元気が出ない。そこで!大学が松永駅北の空き家を借り上げて、学生たちがワイワイ集う空間を創ろう!ということになり、昨年の暮れにこのプロジェクトがスタートしました。現在のところ、学生が運営するスチューデント・カフェをまず立ち上げよう!とメンバーたちは頑張っています。カフェ以外に、もっとほかのことがやりたい!というメンバーが集まれば、それもOK。例えば備後ゆかりの雑貨屋でもいい、青空市場でもいい、何かの展示でもいい、何とか相談室、語学教室、活け花教室、学生らしい斬新なイベント、などなど大歓迎。学生の皆さんがアイデアを出して、それを実行に移す、そのために大学や教職員が最大限のサポートをする、学生さんたちが中心となって、若い感覚でワイワイと進めながら、地域の皆さんとの交流を深め、松永駅北を明るく盛り上げよう・・・これがプロジェクトM。この活動は、継続こそ重要。面白くなければ長続きしません。明るく、楽しく、元氣よく、まさにサークル感覚で「学生の、学生による、学生のための、街なか学習プログラム」に参加して、自らの経験値を高めようではありませんか!

(問合せ先:学生課・佐藤,教員;経済学部・石丸,相原
人間文化学部・阿部 工学部・片桐 生命工学部・中浦 薬学部・松岡)
プロジェクトM推進委員会 生物工学科 教授 秦野 琢之



アイデア集めてワークショップ



カフェを作るぞミーティング



学校法人福山大学が 観光仕様のスクールバス3台を購入!

今回購入したバスは観光仕様のため内装も充実しており、座席もソファのように豪華で、後部は座席を回転させサロン風にレイアウトすることも可能です。また、480馬力の4WSで、高い速度域では車両安定性を向上させ、極低速域では小回りがきく足回りとなっており、1回燃料を満タンにすると大阪まででも平気で往復でき、50人くらいを乗せることができるため長距離の移動も快適に過ごす事ができます。また、バスの側面は大きくあいてそのなかに荷物もたくさん入れて運ぶことができるため、主にクラブ活動の遠征等に利用します。

特に目をひくのは、やはり外装のデザインで、このデザインは、「萌えいづる若葉色を基調とした流れるような・・・」をコンセプトに作成されたということで、バス側面には、福山大学・福山平成大学の両大学のシンボルマークがリズムミックスに飛翔しています。

桜こみちが開通!

15号館横の坂道は急で苦勞する人も多かったと思いますが、この度スロープの設置工事が完成し、これで車椅子でも上り下りできます。

坂道は満開の桜に包まれ、文字通り「桜こみち」となります。因みに、「桜こみち」は松田学長が生まれて初めて命名権を得て名付けたもので、桜の字をよく見ると、ツの点の二つが花びらの形をしていておしゃれです。

4月になれば、名前の通り桜の木々の間を通り抜ける「こみち」になると思います。キャンパス内の素敵な場所になることを期待しています。

